



西嶋電設 株式会社

NISHIJIMA DENSETSU Co., Ltd.

Based on the corporate philosophy of "Technology and Trust",
it boasts high business results with a consistent system ranging from basics,
assembly and wiring to maintenance, and constructions that make use of outstanding technology
and knowledge are highly regarded in the industry. And trust.

信頼と技術で 未来に翔る

天空に舞う匠の技、電気を安定して送り
続ける使命感。

24時間眠らない都市へ、地域へ、家庭へ、
電気の未来を支える私たち西嶋電設は
確かな技術の翼があります。

送電線工事

送電線工事は、鉄塔建設用地の確保に始まり、資機材の運搬の為に道路などを作る仮設工事、掘削・配筋・コンクリート打設などの土木作業を行う基礎工事、鉄骨を組立てて鉄塔にする組立工事、最後に電気を送るための電線を張る架線工事を経て完成します。

私ども西嶋電設は、長年培った最高の技術と高い信用を活かして、一連の送電線建設工事を安全にしかもスピーディーに施工することによって、お客様の要望・信頼にお応えすることを目標に、活躍の舞台を全国へと広げる全国でもトップレベルの技術集団です。

基礎工事



送電線の建設ルートが決定すると、地形や高低差を基に適切な間隔でルート上に建設予定地が設定されます。次に建設予定地の地盤調査などの各種試験が行われ正式に建設地が決定されます。建設地が決まると工事用の仮設工事(道路造成・索道架設・クレーンの設置等)を経て基礎工事が行われます。基礎工事は送電する電圧、鉄塔の高さ、地形、地質など様々な条件を検討した設計図面を基に行っていきます。

組立工事



送電線の鉄塔は高さ20m前後から100mを超えるものまでさまざまな形や高さのものがあります。鉄塔の建設現場は山岳地が多く、ビル工事のような仮設の足場を設けることが難しいため、ラインマンと呼ばれる送電線工事のプロフェッショナルがハーネス(墜落防止装置)を身に付け、本胴網と補助胴網の2本を頼りに、地上から吊上げられる鉄塔部材を図面通り正確に組み立てていきます。

架線工事



架線工事に従事するラインマンは、「天空の職人」と呼ばれるほど送電線工事の業界では花形です。当社もこの分野を得意としています。架線工事は、5~10基単位でそれぞれの鉄塔へ電線を張っていきます。各鉄塔に電線が到着するとラインマンによって緊線作業と言われる電線を碍子装置に固定する作業を行い、電線の振れ止め等の付属品を取り付けていきます。

保守業務

保守業務は、工場・企業・各家庭に電位を届けるための送電線路を守る大切な仕事です。鉄塔や電線に異常がないかを点検する定期巡視、設備更新に伴う碍子や金物の交換、腐食防止の塗装、送電の支障になりそうな樹木の調査や伐採、迅速な災害復旧や景観維持のための除草作業、送電に支障をきたす鉄塔上の鳥の巣の撤去などの多岐にわたる業務を年間を通じて行っています。保守業務においては、現場責任者として施工計画の立案、工程の管理、現場の安全管理等を、現地の業者と協力しながら施工していきます。

伐採



点検・巡視



用地保全



沿革

- 昭和42年 1月 九建架線西嶋班創立
- 平成 2年 1月 「西嶋電設株式会社」に社名変更 社員寮を建築
- 平成 8年 4月 福岡県朝倉市へ倉庫建設
- 平成16年 2月 長崎営業所設立
- 平成16年 4月 九州電力株式会社 長崎支店(送電工事)に指名登録
- 平成22年 8月 (仮)大村センター(宿舎)設置
- 平成22年 9月 内線工事部新設
- 平成22年10月 長崎営業所改め長崎支社とする
- 平成25年 4月 那珂川町指定業者に登録
- 平成30年 1月 長崎支社を現住所へ新築し移転

会社概要

商号 西嶋電設株式会社
設立 平成2年1月31日
資本金 3,000万円
建設業許可 国土交通大臣(般3)第26216 電気工事業 土木工事業
とび・土木工事業 鋼構造物工事業

役員

代表取締役社長 丸山 恵美
代表取締役副社長 西嶋 秀則
取締役 久保 鉄己
取締役 竹川 富弘
監査役 森山 彰夫

